

子 育てなんでもセンターは、妊娠から子育て、再就職までさまざまな相談を受け付けます。今回号では、なんでもセンターに協力いただく皆さんに新しい子育て支援のカタチについてうかがいます。



市長対談
ほっとタイム

高崎スタイルの新たな子育て支援 子育てなんでもセンター



ぬくもりのある託児スペース



富岡 賢治市長
高崎を、子育てする世代を応援する優しいまちにしたいと考えている



下田 亜矢さん
市健康課母子保健担当。主任保健師。健康課、保育課などで健康づくりや子育てに関する業務に携わる

妊娠準備から入園まで ワンストップの情報拠点

市長 この4月に子育てなんでもセンターが開館する予定です。場所は田町の元郵便局の跡地で新たに民間が建てた10階建てのビルの2階。子育てのことなら何でもワンストップで相談できる場所です。初めに、夫婦がそろそろ子どもが欲しいと考えた段階での相談。次に、妊娠や出産後の就業についての相談。その後の子どもの保育園や幼稚園についての相談。こうした子育て全般の相談をワンストップで受け付けます。さらにまちなかで買い物などをするときにさっと子どもを預けられる託児スペースも作りました。まず下田さん、現在妊娠時の母子保健などの相談はどのよう

うに受けているんですか？
下田 母子手帳の申請やその後のお子さんの健診のときに保健師が相談を受けています。その他、電話での相談や家庭訪問などもしています。
市長 でも妊娠する準備の段階で、例えば昔のようにご近所に気軽に相談するというような場が、今はなかなかありませんよね。私はそういう場所が必要じゃないかと思うんです。
下田 そうですね。どこに相談して良いのか分からない人も多いんです。なんでもセンターのような場所なら気軽に相談できて受け入れる側の連携も取れますね。
**働きたいママを応援
就業相談**
市長 次の段階には就業の問

題があります。原沢さんはハローワークのマザーズコーナーで、働きたいお母さん方の相談を受けていらっしゃいますね。週一回センターに来てもらいます。小さい子どもがいると就職するのは大変でしょうか？
原沢 どんな年齢の子がいても可能性はあります。例えばお子さんの預け先が決まっているのかなど、まずは働ける状況にあるかどうかを確認します。
市長 決まっていなくても多いんじゃないでしょうか。
原沢 保育園の募集情報についても知らない人が多いです。「では託児所があるところで探しましょう」など、その人に合った方向性を探りながら進めていきます。
市長 実際は育児休業を取るのが大変なところもあるで

しょう。
原沢 中小企業では限られた人数で仕事をされているところもありますから…。
市長 現実は大変なんだと思います。例えば中小企業がお互いに連携して、企業内に保育園の分室を作ったらどうでしょうか。こうした取り組みをぜひ実現してほしいなあ！

園長に直接話を聞ける 幼稚園・保育園相談

市長 さて次に保育園や幼稚園の話になります。皆さんに協力いただいて、待機児童はゼロにしました。しかし、希望の所に必ず入れるという完全な待機児童ゼロを目指していると考えているんですが、どの保育園に増員してもらうかなどの情報が必要だと思っております。

石井 あらかじめ職員の人件費を補助してくれる市独自の補助金制度で、保育園は途中入園を増やすことができました。待機児童の問題を考えると、この制度はありがたいものです。今度始まるなんでもセンターでは、私たち園長自らが相談を受け付けます。例えば保育園・幼稚園・認定こども園のうちどれが一番合っている施設なのかなどのお話も直接できますし、自身の園の魅力も多くの人たちに発信できるのはうれしいところで。私たちもそうですが、保護者の皆さんにとっても多くの情報が集められるでしょう。
市長 そうなんです。画期的なのは市内の各幼稚園や保育園の園長さんに順番に来てもらうことです。皆さん無償でね(笑)。

石井 楽しみです(笑)。
市長 さて中村さん、幼稚園も園長さんに順番に来ていただきます。高崎には魅力的な幼稚園が多くありますよね？
中村 はい。ホームページに掲載したり、園ごとに公開日を決めて説明会を開いたりしています。行くこと入園しなければいけないんじゃないかと気軽に来られないこともあるでしょうから、センターのようなどころがあれば気兼ねなく相談していただけますね。私たち園長同士も勉強して臨みたいと思っています。
市長 順番にご自分の園を説明いただけたらと思います。が、相談によっては幅広くする必要がありますからね。保護者にとっては直接園長さんに相談できる機会もそうないでしょう。

中村 そうですね。例えば、
**預かりは夜10時まで
新たな託児スペース**
市長 センターでいろいろな相談をしたいというときや買い物に行きたいときなどに、すぐに子どもを預かってもらえらる託児スペースは、朝7時30分から夜の10時まで利用できます。新しい取り組みです。金井さんを中心とする若手の保育園経営者の皆さんに運営していただきます。小さい子を預かるのは大変でしょうが頑張ってくださいね。
金井 はい。市長の熱意に負

けないよう一生懸命頑張ります。有資格者の正職員もそろいました。保護者の皆さんには気軽に使ってほしいですね。
市長 若手として何か抱負はありますか？
金井 そうですね。お子さんを見たりお母さんと話をしたりする中で、保護者の皆さんのニーズに耳を傾け、横にならげていきたいと考えています。センターには、私たち以外の分野のプロがたくさんいらっしゃいますから。
市長 これから始まる子育てなんでもセンターは、全国にも例がない取り組みだと思います。皆さんに手弁当で協力いただきながら、子育てに優しい仕組みを作っていきたいと思っております。今後ともよろしくお願ひします。



原沢 明美さん
ハローワークたかさき勤務。職業相談員。再就職支援や職業相談などを行う。2児の母



石井 博さん
市保育協会保育園部会長。清水坂保育園園長。高崎子ども・子育て会議の委員も務める



中村 登美子さん
高崎商科大学佐藤幼稚園園長。幼稚園教諭に32年間従事。保護者を対象とした子育てセミナーなどにも尽力



金井 徹さん
NPO法人ぐんまこどもわくわくサポーターズ代表理事。幼保連携型認定こども園すみれものがたり園長